角度より

特銀首腦部會議 東京關通)大號省日錄與銀

るや滿洲剛側はかねて堅持せ に入つた、午後一時開會され に入つた、午後一時開會され

折衝を観ける筈である が動を観ける筈である

石

油専賣の質施さ

外油各社

而して外油各社がこれを契構相當時日を要する見込である。 相當時日を要する見込である。 はははははいていている。

ないテキサ

で変渉を進め

兩次官、雨銀行の正副總裁等より総相官邸で髙橋職相以下

提案を基礎とし討議に入つ

特合の付られ、其後任は堺郡となりので、東京観通」を美大島要窓司を大島要窓司

駒及其附近の土地は外蒙

展覧司令官の高橋省三郎大佐が 関司令都附西村東五郎大佐が 任命された

代表と新京大連に戻て會見・「「、外油各社」と、外油各社

小設については事資總署でも これを見越し對策を講じてゐ るが重に外油各社の自酸的所 を変変策なりを反映したもの

社の共同不賣行為もさして 電視とは思は以、當方としては外抽の直接買入が不可 能の場合と雖も日本から順 料並に製品輸入の方策を購 するから何等不安を感じて あない、ソ聯油の電く

日の第九大満洲里會驟は憨々

H 滿 7 H 日七十二 10 B W ...

大使會談

國境問題に 具體祭に 就き研究を進める事に合意成立し 同委員會を設置するに遺見一致關し三時間に亘り重要會談を爲 聯大使は廿六日午後二時廣田外

を阻害するところと適當とする、而して現在の日端 減ソ 関境に於ける紛争の頻發は日議ソ三國の友好關係た、即も會談に於て版出外相は が務省考究の原案

要望しこれに對しユレネフ大使は 際が自發的に関境から兵力を撤暖すべきであるのるに起因するから國境問題發生防止の爲には先づ

顕政府に傳達の上歐洲隣接顧問に締共同委員會設置には主旨としては自 間五時半會見を終了し、體業の研究を進める事 結せる協定を参照

側の代案として提案されたも 常設し、鴻洲里、黒河その 一、小委員會に於て紛爭解決る不侵略條約案に對して日本 一、ハルビンに中央委員會を選案はソ聯の提案せ、左の如きものと信ぜられるを以て組織し軍事委員を加 を以て組織し軍事委員を加 を以て組織し軍事委員を加 を設置する 管を設置する を設置する を設置する 小委員會に於て紛争解決 能なられています。 政員央

府の交渉にない 動に於ても別様な場合は

と對峙中であった。

に着手 山六日基隆へ寄港の

日午後八時新京納計通の豫定で開催される第二回鴻鰕社員で開催される第二回鴻鰕社員の計画を表現のため二十八十分に対している。 一日午後八時新京納方長は大連

日本とカナダとの通子が高葉會議所書記するとあまるとの通子を指導者とするとの通子を指導者とするとの通子を表しているという。

指導者とする通商使節 | 定でな悪僧護所書記長クラー 九日糯悪化してゐるが今秋カーことゝカナダとの通商關係は が楽顔

九日橫濱着、

社會局長官 赤木 朝 任內務者官 中繼縣知事 牛 非 任內務者官會局長官 中繼縣知事 井野 大

通商使節

來る

ナダから

日銀多典に 森氏决定

《東京関語》日銀器與は手形 変換場理事長の森廣巌氏に決 定したが七月一日に正式競令 される筈 りで東京二十 挨拶に來京

介新儀學天練領事

結局産系師旅の補充となり。 に益々多きを加へ右三千名も に益々多きを加へ右三千名も

總領事

ち左の如し、單位千元れ入超額も減少してみれ入超額も減少してみれる減退を示し、み

家日に

口に於て訓練中であるが、 に過ぎず、之等は目下張 したが結局三千名を募集し

を減少してゐる、即 返を示し、それにつ 帰によつて輸出輸入。

表於之海猪官節 9

【東京國通】病氣中籠り中で を決定發合することとなつた 計八日の順等で左の如く異動 を決定發合することとなつた 社會局長官 赤木 朝治 トで歸任の 挨拶をなしたなほ二十八日ハたのち日滿兩國各方面を懸訪 支 訪川更任挨拶をなし二十七日午前十時半 なほ二十八日

辭表提出

對外貿易は諸産業の表徴、購受による本年五ヶ月間の全國 五月末對外貿易

本年五ヶ月職入 (前年同期に比し二九。六 六一の減) 一の減) 一の減) 一の減) 一の減) 松井中佐着平

北平十六日登園通 3家口 ・ 出五日午後一時十分着列車で ・ 北平に到着した 病は越南三個月中に於る約一 今後の行動には製基の注意が 神はれてゐる

王克敏氏 日本要人招待

下日本要人を招待し午餐會を氏は廿六日正午土肥原少將以

十二月歸國の強 **着した事は胚報の如くである** 艦欽より懇切なる慰留電が到 の群奏に對し中央常局並に 依然辭意堅

滿洲國をも視察

が來朝、稱洲國を

く離職を表明して居り暮哈爾が局氏は病氣の故を以て尙堅 辭職を繋請する模様である問題解決を待つて再び中央 あつた。

£ 0 B

いことになった。

等奪取 発越電測量 対象 変形の 似でゐるが、雨降つて地固る。明號乃至はソ聯兵の暴器にも **塩測量除費を拡致、機械**

秦德站

石の秘書張群、楊永泰軍政部府の對日方針に諒解ある蔣介府の對日方針に諒解ある蔣介 改造、関都の玄關としてはチ 新京味がダイヤ政正までに大 と思へば考へ直せる 恥しい のであった

はつて時局は更に重大化せ、火軍機闘らの反動的暗縄も

からう。 あの憂鬱とはいえ母の胸は 雨の憂鬱とはいえ母の胸は痛青年社員發作から拳銃自殺梅

次長、何願欽及び浙江省主

雨中自動車衝突、自動車のみの被害では濟まぬ各人の注意

度を對日屈服なり 對する汪精衛、何應

八日發國通』北支問

◆小泉中将 (帝国在郷軍人管 修東京ヤマトホテル投宿 修東京ヤマトホテル投宿 ・ 東京帝國大興長 ・ 東京帝國大興長

氏(軍政部会謀司長)

W車をやせてほしかった。 花幅らしくきちんと、鯉の上に 勝が勝きぶつて しの間には、身體中の血 舞ちだつ た

ではさん。

勝と

本大日本相撲納會力吐檀百五 会二十七日午前六時二十五 会二十七日午前六時二十五 会二十七日午前六時二十五 会二十七日午前六時一十五 十名二十七日午後三時十 七日午後二時四十分級ヘル

たった。 武場から自動車に乗って、 披露性のがら、 脱いは、 飛いである 東京館 に続くするしかけてるた。 米見に乗ってるる ぬからよ

すつかり聞くなつてしまつて動 今を文へることがやつとだつた 静通の健康が、式城や披露でで、式城で触れないやらに、自 彼女は、式が終つてしまふま 秋日と職人の出版式は、藤田一に、彼好の心臓を刺り 大戦官を一て、被罪分の場 しばいた。

たが。それだけは死んでも縁だれなったの影響は、戦闘戦略の自 といった。それ 三藤の自動脈に分野すること しまつたばも

0



線部隊引 面宋軍

哈爾省主席)の無電により第 れる の 満大を危惧せる 泰徳純(祭 れる 引續き嚴重警 附近で は

江橋衛 對日方針整調

日本政府に對し條約締結を要 を了つて外交手續きに移り、 を了つて外交手續きに移り、 を了つて外交手續きに移り、

證券界は一時的には沖滯風味 につき意見を交換した結果、 につき意見を交換した結果、

をはし、正午散會した をなし、正午散會した であるとなし、正午散會した

不法入港の

月中

は調印

便條約締結

洲里會商

九次會議開會

ハ廟事件の折衝に入る

等 廿四日不起訴と決定、兩船共 に現在の天姑保定司令部も自 一英船 不 起訴 終も不充分である為近く大津 任 「産北廿六日發國通」去る十 或は北平へ再移轉する模様で 陽 に依り州警務課の取調べを受 の大刷新を行ひ于學忠系の人 に依り州警務課の取調べを受 の大刷新を行ひ于學忠系の人 に依り州警務課の取調べを受 の大刷新を行ひ于學忠系の人 に依ら州警務課の取調べを受 の大刷新を行ひ于學忠系の人 は北平へ再移轉する模様で 陽 保定へ移動したばかりである。現の河北省主席就任により曩に、現て、大津廿六日發國通)商農氏 保定政府を は北平へ 本へ再移轉せん 編入される、商農氏の第卅二 編入される、商農氏の第卅二 にた、天津市は程克氏市長就 した、天津市は程克氏市長就 が 常 放化し 且 今 回北支を が に は 最

ほこより特別市となるが右 住により特別市となるが右 は出る事とならう、主席代は出る事とならう、主席代は出る事とならう、主席代はならぬと思政府の改組も関係の改組もない。

敬記事を掲げ 新生紙問題解决

紙に於て帝國の皇威 た事件は五月四日 「新生」に不敬事 「新生」に不敬事 制告した結果臭市長は翌十五 意を表し 一、同紙の優行禁止 一、同紙の優行禁止 一、開紙の優行禁止

三、雑誌銭部の線却
 三、雑誌銭部の線却
 一変述べ験恕を乗請し来つた、
 対で酸重取締る事
 が述べ験恕を乗請し来つた。

宋哲元の 風監視するに決定し問題 を信ずる事として其實行 でに、決定し問題

員二萬名を募集する事とは最近二個師を増設する 逃亡兵 增師計畫失敗

廿五 ▲副田高造氏(電々會社)同本版局松太鄭氏(祠)同本版局松太鄭氏(祠)同年年後来京ヤマトホテル投宿宿 一十六十六十六日午後来京ヤマトホテル投宿宿 一十七日午前發ハルビンへ ▲ 蜂谷輝雄氏(財治會々長) ・ 南田中智學氏(明治會々長) ・ 南田中智學氏(明治會々長) ▲廣邊縣略監(開東軍歐部長)

そは、鉛鉄頭かな微笑をたるえ 彼好の世難をはらはらさせた程 の設備までも人形の様に硬ばら 神官が宜嗣をあげたときる。

た日野は、頭として半らうとはし をいった。 をいる。 をい。 をいる。 をい。 をい。 をいる。 をいる。 をいる。 をいる。 をい。 をいる。 をいる。 をいる。 を、 を、 を、 半らろとはし

頭痛しノ ーシン 0

受驗通信前藥品

部

18 新京昭町ニノニー ● 本記は八山川の三貝に城へ ◇ ◇ おれている。 ・ 本語のの別とます。本書は後す近くの高麗な質楽に代る場で、 ・ のの別とます。本書は後す近くの高麗な質楽に代る場合では、 ・ のの別とます。本書は後す近くの高麗な質楽に代る場合では、 ・ のでは、 ・ のものと、 ・ 本書は後を公開して、 ・ 本書はをと、 ・ を記述して、 ・ 本書はをと、 ・ 本書はをと、 ・ を記述して、 ・ 本書はをと、 ・ ではている。 ・ では、 ・ の。 ・ では、 ・ の。 ・ では、 ・ では、 ・ の。 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ の。 ・ では、 ・ では、 ・ の。 ・ では、 8:5 招 醫

一、職 穫 警院としての設備及内外耳鼻咽喉鍼人科州一、職 穫 警院としての設備及内外耳鼻咽喉鍼人科州一、 歌 穫 警院機械一切並に電声耐水炉接近の機) 原 機 讓渡廣告 譲渡廣告 (競技五三九七番)



て、明は同れの場所へ出られない。ころ残事が、の川心であり、その気持病の間はが健つ 関って、別を調じて職一の家の をにつよいた。せめて翻版の式 日本につよいた。せめて翻版の式 日本にだけは職を可したくないと からからない 歌跡では、今のと 彼がにいつては、難しい夕暮 知れなかつた。 一をれに帰換へて、膝裏は生た 一でなる。彼だは、世話役の概官の があま」に、中つたり単つたり からした。に球点は

れないので、どうして たちらつくが見の変も、臓・のはちらつくが見の変も、臓・のからにしてぬたの場の耐・のがある。 それが、度のやらに、管

ハニリーニノ

何なく境野が出なければならない。 人の吹さんだりとして山際する 餘 な 動情はしてるたやうなものよがの一般と、誠べて宣河の城の宮海が と、誠べて宣河の城の宮海が があいまれば、 動部膨子…… あた。 かし、戦党の奏する宣詞の

電氣冷藏庫 械工具 新京東二條通七八 館原田組 電三七五七番

公債株式現物賣買 経験有ル方(面談)上 畑園太 募 E

身元保護人を要す職無期報等中前中東議ありたし女子 日給 國幣 二圓五十銭 男 子 田給 國幣 二圓五十銭 新京賽馬俱樂部 新京賽馬俱樂部

リシモ都合ニ依リ本日限リ解約数請負ハ本月末日迄林千虎と初請負ハ本月末日迄林千虎と初 賽馬會從事員募集

赤痢の傳染系統は

ナナが危險

昨日も四人の新患者

同線從つて最近では非常に狭
ではのに物らず食気は事變剤と

同盟會出席

議員一行

豪大伎舞歌の世

第六所作事二人道成寺一幕 第五 與話情學名橫橋二場 年

三・椀屋久兵衛

込扱

近江源氏先陣館一

お名残り狂言

七月七日の二の替り

0

る迫演來

お目見得狂言

七月五日、

六日の

一日來京 一日來京

が模様替されるのでこの

、二等符合室助役

日午後三時頃兵工廠向務州國六番地域需品商丸貞洋行の店六番地域需品商丸貞洋行の店

六番地軍需品商丸貞洋行のて逃走奉天に至り同地渡郷

警察

二等符合室の質

伦操選手出發

#爾無味の天候で附屬地内の #爾無味の天候で附屬地内の #爾無味の天候で附屬地内の

でもベナ、を食用したものが 一番多いやうである、因に二 一番多いやうである、因に二

ストの大会

かぬまでに大破運

されてゐた電業公司の青年社梅雨窑の二十七日前途を屬望

等続自殺を逃げたー本総秋田 等続自殺を逃げたー本総秋田 兵春北門胡同白揚寮電業公司 長春北門胡同白揚寮電業公司 た)は二十七日午前四時頃自 北負福祉係佐々本盛義氏(二 が出てプローニング学銃を

自殺も知らず

ダイヤ改正

までに

新京驛

も大改造

内食堂も擴がる

母は來滿の途中

室内は散亂目も當てら

(=)

せるやらになつたと思ついよく、大陸の夏を想はどは三十度一まで水銀柱とは、と昇り出してがぐんが、と昇り出してがなんが、と昇り出してがられば、と昇り出して

職んだり陰氣の

愛婦支部

雨期に入 東京だ。 當分は炎熱こもさらば を観測所のお託宜、これで襲昇りの炎暑も一先づで襲昇りの炎暑も一先づで襲昇りの炎暑も一先づの選度は十六度五だ、これから七月六度五だ、これから七月

新京署の眞ん前で 目動車激突 飛行隊自動車ピタ

運轉手を集めて充分注意を めくことは出來ぬので近く な話にならぬ、これではいつまでたつても交通事故を がくことは出來ぬので近く かいるものさへありまつた かいるものさべありまつた 發作的精神異狀で

加療中であるが生命には別條い直ちに黎町饗院に入院目下ひ直ちに黎町饗院に入院目下

と若し職かぬものは片つ端から電分する方針だ、それから電分する方針だ、それから電分する方針だ、それから電分すルを設けることにのシグナルを設けることになつてゐる

ットに入れてあった前記金を携へ日本橋郵便局窓口にてを携へ日本橋郵便局窓口にて

新満鐵祉宅街の

氏が強金すべく関幣三百九十二十五十年後二時頃市内朝日二十五大隆公司版潮宗壽氏

んでゐた、彈は右耳から左耳にまみれ雨手を輸に垂れて死

長の手許に酵表を提出したとしたので十四日關日總務司

本木町生れ石質胞治(四九)新京ビル第十四號室靴屋秋山

夏

二十六日午前九時ごろ中央郵本木町生れ石質胞治(四九)

に一受取り

氏は過般來部內問題で辭章を

そのま」逃

科長辭任

旦 清 大 郎 歌 歌 都 長 川

本原因に就ては目下販網中

為替受取

あ

ふるい

新清趣

凉

しさ

5

*

冷凍園生酒

調度

こわし全身鮮血

四百餘圓すらる

本橋局

額を物取逃走した届出に依り額を物取逃走した届出に依り新京署では直ちに各派出所にそれは日本橋郵便局窓口に於ける掏摸の被害は今まで敷件に上り犯人は同一犯人と見られてゐる

けふ本社工事係で本検査

を と 以つて の 部 を 学 が で 著 よ か 田 中 司 法 大 職 で 著 よ り 田 中 司 法 大 職 が 管 元 で 署 よ り 田 中 司 法 大 職 が 管 元 で 署 よ り 田 中 司 法 大 職 が 管 元 で 署 よ り 田 中 司 法 大 職 が 管 元 で 署 よ り 田 中 司 法 大 職 が 管 元 で 署 よ り 田 中 司 法 大 職 が 管 元 で 署 よ り 田 中 司 法 大 職 が 管 元 で 署 よ り 田 中 司 法 大 職 が 管 元 で 署 よ り 田 中 司 法 大 職 が 管 元 で 署 よ り 田 中 司 法 大 職 が 管 元 で 署 よ り 田 中 司 法 大 職 が 管 元 で 署 よ り 田 中 司 法 大 職 が 管 元 で 署 に 基 は い た が 原 因 い た が 原 因 か に 異 か に ま な に ま か に ま な に ま か に ま な に ま か に ま な に ま か に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な 三宅牧場西側に新築中だった工事を終へ本年解氷期に入って本工事を繋いでゐたところこのほど漸く竣工し二十七日を行った、新社宅は満別開發を行った、新社宅は満別開發を行った、新社宅は満別開發を行った、新社宅は満別開發を行った、新社宅は満別開發を行った、新社宅は満別開發を行った、新社宅は満別開發を行った。 するわけ 竣工と

び社員倶樂部は少しおくれてかくて、なは獨身寮百人收容一棟およっ近く運

寮百人牧容 本年度分丙

電業青年社員拳銃自殺を遂ぐ

今曉白揚寮の出來事

客一棟は本年九月中 移物等によって住宅に多大の でででである。 でである。 ででる。 でである。 ででる。 でである。 ででる。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででる。 九月全部完成

名が無**惨**の死を遂げたもので 物実し二機共田闘内に墜落三 をが岐阜縣稻薬郡上空で空中 とが岐阜縣稻薬郡上空で空中

澤特務曹長操縦機と太刀洗兎の陰事が勃發し搭乗者五名がの陰事が勃發し搭乗者五名が

發

精育。東京大歌

五 1 日を同じらして二個所で富中(東京國通)廿六日偶然にも

岐阜と新潟で

空中惨事

冷凍装置減吟造

份堡

價特

入済酸社宅街が現出 は各機関の定員増加に伴ぶ新党見込で、同地一幣 余齢が生ずるわけだが、事實

座談の集ひ ・ 一行歌迎を兼ねて運該會を開 ・ 大人ほか数名が東京するので ・ 大人ほか数名が東京するので ・ 大人ほか数名が東京するので ・ 大人ほか数名が東京するので 東拓変店長更迭披露が二十六 を招待行はれたデザートコースに入り间支店長渡邉氏の挨 粉ならびに新支店長申井氏の 超介があり中井氏の挨拶に次 で來賓を代表して丁賞樂部大 し程幅をさゝげ懇談、一時間 除で蔣會裡に散會した り机の上の 壁には拳銃の弾二弾命中し居 ので窓硝子は木剣で破壊し 松田主計館長は卅八日午後六 大街変行を商淵関政府は難に康徳二年度 高洲中央の 松田處長の 日稿各段の代表百十餘名 豫算放送 1 のらしい。なは同氏の母堂が 日下渡隣の途中にあり舎弟が とにこの惨事を惹起したもの 性情んでゐる のらしい。

東拓支店長

更迭披露宴

一弾で即死したも

り大同大街廉徳會館内に大岡端洲中央銀行では七月一日よ 支行新設

にて朝鮮縄由岡東すると氏夫妻は二十八日朝のひかり 前東拓新 中銀康徳會館に 明朝出發 从支店長渡邊傳司耶

種世帯道具の仕入に奔走中の氏は先岐来陽四地方へ出張各氏は先岐来陽四地方へ出張各 けるの銀相場 般の好評を博

道具好評 勉強堂世帶

渡邊得司郎氏

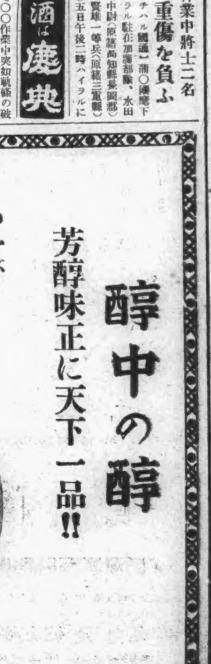
作業中將士二名

重傷を負ふ

经精中尉〈順籍尚知縣長嗣郡

お酒は寒





この

一杯!



色





等・七圓五十錢の處七圓

九圓の處八圓五十錢

▲本祭選特金二國(一

京

Ħ

H

闡

虻

中

元

0

お

買

は

賣

加

店

奏

觀

割

引

者

氏

六月二十九日午後七時中

記

念

公

會

堂

會和

者

割

引

券

◆本券御持参二圓(一般二圓半)

聞

社

提挙家デムパリスト

氏

六月二十九日午後七時半

記

念

公

會

堂

・六白の人

光楽に浴する吉日の光楽に浴する古日

今後の基本

高事の計畫に吉

聞

・四線の人

手堅く定業を守るべしの人 他人の誘惑に実

琛

東京無線

(H

小學校の児童 篠崎 小堀 勝手をの女房お作 藤野 房子をの女房お作 藤野 房子をの女房お作 藤野 房子をの女房お作 藤野 房子をのり見る 篠崎 小堀 勝

10)

一二二〇成人器座 (奉告) 一二二〇成人器座 (奉告) 二、五〇 (東京) 二、五〇 (東京) 二、五〇 (東京) 三、五〇 (東京) 三

亢執 友乙金 宿 引 亥 闡

日八廿月六

良子さん

ラデオは普及會社で 新京警察所付 曹野町一ノー

b

一、 奢侈と赤貧 コードム

ーファ

○、○ (大連、引機新京)
○、三○ 建綱體操 (群語)
○、三○ 建綱體操 (群語)
○、三○ 主ュース (楽語)

景

二等

壹千五百圓

洲輸入組合聯合會

五四等等

水本九本本本本本

六等

(東京及大連)

ペートヴェール ペートヴェール、二〇 経済市況 (東京) 一〇、五九 時 報(東京) 一一、〇一 軽済市況 (東京) 一一、〇一 軽済市況 (東京) 一一、〇一 軽済市況 (東京) 七、二一朝の音 六三〇

出期

間

记 月 月 十

旅順、

大連、

營口

遼陽、

奉天、

商

店

合

理

化

1

0

躍

進

挨

(学) 特報ニュース(東京) 文化元結 天中軒雲月 (大阪) (大阪) (大阪) 力

公主嶺、

新京、

吉林、

哈

齊々哈爾、

撫順、

鐵嶺、

開原、

見合すべし現業次第に向上 内と丁と寅が吉 八白の人 朝日を拜むが加 き清々しき日縁設金談等吉 乙と丁と辛が吉 乙と丁と辛が吉 できるる運氣業滞すべき日 できるる運気業満ですべき日 ●一白の人 運氣至福吉なれば足拍子揃へて進むべき日本と王と癸が吉 一二黒の人 思はざる引立に 遙ふことあり但し口舌注意 甲と乙と庚が吉 八、三〇 時報ニュース(東京) 列練さ ニュース 無象油報、番組強告 (満語) 九、〇〇 個 (哈爾濱) 九、〇〇 個 個 (哈爾濱) 一〇、〇〇 北海の時間(露雲) 外 五名外 五名外 五名 新事と増資とは

引發

我慢していた」く事になりますから御買物は御早くであるに依り課備計畫として五拾萬圓此景品二等以下一萬餘本金額一萬二千圓の増加するの準備を有するも夫れ以上の場合は期間中の御買物には割引にてるも夫れ以上の場合はの資上總額百萬圓計畫なるも其 **老して當籤の福運を御引當で下**

ルを前店小 田吳服店 廣春洋行 現代號 秦慶物店 ミツワ屋書店 森野商店 陽原洋行店 大長洋行 岩間商會 逸速屋靴店 金城靴店 陶器店 金糖洋行 阿倉時計店,西山萬年筆專門店 臭服店 稻垣臭服店 太田屋吳服店 玉屋ヶ店 佐藤吳望店 柳屋衣服店 福田吳服店 店 近江屋吳服店 峰長春堂 大阪屋 風月 丸美屋 マルカ商店 山口 金素洋行 都デパー 香 村岡吳服店 屋小間物店 澤山商會 松尾商店 三和洋行 金華常時計店 三浦商店 吉 みしまや晃服店 や服商組 満惑屋奥服店 近顧星 山口商店 大葉商 さかると確店 森神行 吉川商會 中谷 爱久洋行 松屋 赤木洋行 酒井商店 加 河久商店 年行 平本 岩宝商店 伊藝商

但し倉庫は從前通り六二六八番

支店 電話二九〇七番

商

品品 此金額

執行 施 七月十六日新京記念公會堂 二萬二千九百九十九圓五十錢 日全滿各新聞紙

抽

ます が八月十日が期限となつて書り催者で商品券と御引換致します 御引換を願ひます 當籤した商品券は各地の主 からむだにならぬ様に早く月十日が期限となつて居り

賣公告 在新京日本帝國總領事館 中

電話第二〇五二番ノ加入権 村興作

在新京

日本帝國總領事館

美凉改

3

力

本、并行

殺宝剤

T 八○銭のところ 間 五 0

富

電話三四五六



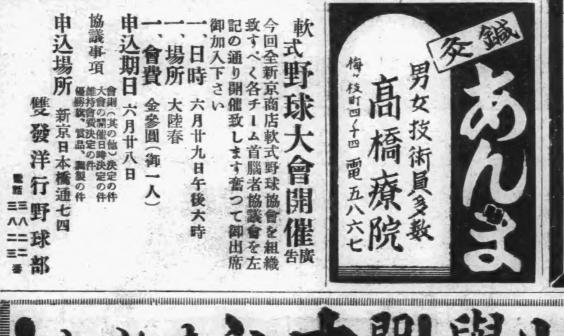
記年 念 周

至 # 粗品進呈 Ti. H H 間



開店以來皆樣の厚き御引立に依り た事を厚く御禮申上ると共に今後の御愛顧を伏而總顧申 爾先穀の濱巖大倉の御批判會を も無ね是非御一夕の御荷遊を御特申し 無くてはならぬ

給主 敬



に倍し本番號御利用被下度此儀謹告候七月一日より電話番號左記の通り變更仕候に付舊

電話室內

交換開始

込先 の大景品は懸賞とか 抽籤など云ふものでは絶にありません。どなたにでもヨリドリどの品にありません。どなたにでもヨリドリどの品を上げます。日初れの際はお断りなければなりません。即刻申込下さい、大景品中込みは郵券(十二銭)お送り下さい、大景品中公みは郵券(十二銭)お送り下さい、大景品中公みは郵券(十二銭)お送り下さい、大景品ではお断り致します 即刻お申込み下さい 腴



接替束 京二一九五番 管轄大塚 (8) 日五六二番

區原町

銭封入なきお申込

用人の操縦法(定り下さい、大景品・大景品・

目 おぼろ月夜 靑 15 水 ギス





廿五日

入

院

隨

意

產

隨 時

(診宅出派婦產助)

院長

神

津

且

+

H

午

李章李李章李李章李章奉 强勉生人樣若 微主代本百洲大·子妙

裕室ス

の設

備

あ

長具大清潔御家族連の方便利た

御

泊八十錢)

CK 杏 产 本日年少り輝 員動機軍年少田蒲 の界世

性婦產

科科科

病

軍海大國皇

(四)

百

萬

員

10-10

賣卸のデバート 日和商會の推奨する 故??? 多言を要しません是非御試験下さい

奉 二十八日限 天 尚 0 高 級 吳 吳 h 服 服 店 於 太 出 張 賣

費 讀者二、 一般二、 六 月二 O O 九 京 (提琴 主催 記後 念 日地音

京 京^典 宿

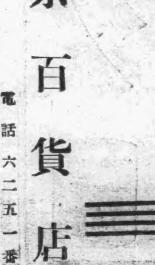
〇二遊橋本日

老九八六五 話 智

新



セ 1 物、 ガラス 器、世帶道具類 H 新



た 面上にも今日は美びがたゝえ 影をなしたが疲勞した豪氏の

期待すべきものだ私は廿九わけだ、これからの北支は

慶すべしとの意見であるが、 産業法規は制裁法規と共に撤

地外に於ける小學校は昭和五る豫定である、即ち蒲磯附屬

日出頭障補する

將は重荷を卸した面持で語つった、十一時四十分土肥原少

いと一蹴したへ寫眞はホット

親方法は?」との質問には、 尚は「要求實施の期限並に監

軍計畫の遂行

三日中の豫定で來たのだつ たが禁哈爾事件でこんなに

車は十一時三十五分蟹外に去設のスタートは切られ秦氏の

重荷下した

一肥原少將語る

次は毎月の急を要するものと して目下外務省對痛事務局に がて具體炎の仰成を急ぎつい がて具體炎の仰成を急ぎつい がて具體炎の仰成を急ぎつい がで具たが、近く現地側と折衝明

ストラック (東京観通) 第別観に於ける 本人子弟の単校教育問題の解 を関するものと

に達する価準振りであるが、 學校であつで、従つて数員の七十名より十年度に於ては校 の小學校が滿樣の委任經營に数五十五、生徒数一萬四千名 依る外は悉く民間経営の私立年度の校數十三校生徒数九百 ではハルビン、鄭家屯、吉林

依る外は悉く民間経営の私立の小學校が漸微の委任経営に

學校であつで、從つて数員の

より着手せん

地内に於ては校報 単校経営より見る 単校経営より見る

校野區を基礎と 長るに現在附屬

保上其不均衡を是正統一して特遇縣く素質も劣等である關

の教育向上を聞るべく對痛

察哈爾事件に關しては六月廿三日以來正式 交渉中なり(北平廿七日發國通至急報) 陸軍武官室午後一時四十分發表し

が察哈爾當局は我が條理ある解决案を容れ深甚なる

ータスのへ設建支北·朗

なる解決

支一切の問題

れで全く落着

る具體的辨法に署名する事を承認し、

を告げ今や單に誠意める實施を待つ

憾の意を表し

關係者を處罰し、

且つ善後事

誼に關す

附屬地外教育の

兹に交渉は圓滿

頁二十共刊朝夕 制御 定本 会計 教証 酸行所

ニーナー 門門 エニエ 井井 知知門

外蒙兵の拉教

態よ交渉を開始

ゥに本國政府に傳達し一日も 之に對し外豪代表は事件を直

事件

要求は完全に容る。

洲里會議とは別個に交渉を逃 容は一週間位で到着する見込

回位で到着する見込めする外談政府の回

滿洲國政

謝駐日大使

我が要求全部承認?

の黒白既に明白である以上被 かとなり、十六日滿洲里に於て 東京し本國政府に傳達方を申し 入れた處、サンボー代表は早 連本國政府に傳達方を申し 大なた處、サンボー代表は早 であるのと思はれるが、事件 であるのと思はれるが、事件 別個に交渉 里會議ごは

回答は一週間後か

一十五日突如愛 一大、十七の兩日 一大、十七の兩日 一大、十七の兩日

わが要求全部を容れ

昨日覺書調印終

3

條約が同時に日濂兩國の國内規關係治外法權撤廢に關する。

と解釋し得らるゝにあらずや特に法律を制定するを要せず、

といふ意見も一部に行は

に亘り外際代表部に對し、秋 中又もや此種事件級生せるは 兩國親善上甚だ遺憾である故

般官廳執務時間は午前八時よ月卅一日まで夏休暇に入り一

ら夏休暇 七月一日か

工業の中心地大阪方面を始め 査を爲さしめる爲、先づ軍事 では、生び軍事 命ずる事となった 近畿中國北九州に向け出張を

開かれるが、同日は林陸相よ四畿會は廿八日午後二時より 【東京國通】內閣審議會第三

同時に獨身宿を

の四平街移幅があり、満 高二十戸が三宅 場の関接地に被っ 大大、九月末に対

内科小児科X光線科 蔣洲親祭結果に闘す

のは幾ら

並に腐田外相より滿蒙並に北 変の現狀英獨會談に伴ふ軍縮 する管で審議會特別委員會を 者中休暇中も審議を進め審請 を継續をも助いて中間報告を なす事となつてゐる

つて家主諸君の考慮を煩い 往來

(東京國通)中華民國在動帝 桑原少佐赴任

新京入船町三丁目十 松尾商

電話五三九三番



製ブルバ士富麗英

間期したが、海軍問題に就て で参員會に臨時外交政策全般 につきフランス政府の方針を につきフランス政府の方針を

シントン海軍條約は最早フ軍協定が成立した結果、ワ 英獨兩國政府間に新たに海 英獨兩國政府間に新たに海

會談が順調に進むか否か みないので果して右三國 英國との折衝に乗気を示

省職を開催したが、十五日ま

規要求

外務省の新

内調その後

た。之で北支一切の問題は た。之で北支一切の問題は

對滿事務局で具体案討究

業別國に於ても最近依制整備 主なるものであつて、之噂は 主なるものであつて、之噂は が、中央創資市場供等が

は日本の独院又は領事裁判には日本の独院又は領事裁判に

日滿經濟共同委員會

七月中旬迄に開催か 年内に全般的軍縮會議を開催

心とする窮乏地方へ派遣し農心とする窮乏地方へ派遣し農 の動向

大体各調査官は全

ある、而して新規要求細目の職富局に原案を提出する筈で 一、通而局を贈張し通商局 には最後的決定を行つて 空往

▲桐野吉常氏(福井高梨組)二十七日競新養州へ 氏(檢察廳)同ハルビ

▲草場大佐(滿鐵顧問)二十七 日正午通過率天へ 日正午通過率天へ 十十村團鵬氏(新京保安區關 使)二十七日午後來京 東門 (新京保安區關 坂本式チョーボーへ ●多年好評ヲ博セル 坂本商店 7



交通部の新豫算

(六ヶ月) 豫算識出に於ては 登を投じてゐるが康徳二年度 では年々多額の經 のいて政府では年々多額の經 のに進に

二年度豫算歳出額は左の通り一大脳新を期してゐる、康健

松本參與官動靜

百五十八萬圓に上つてゐるて約八十五萬圓の増加を見二

八五〇

《北平廿六日韓國通》外務多 時度松本忠維氏は廿六日午前 中時政務整理委員會軍事分會 では若杉多事官の主催で松本

る外路政方面に於ては全補重

遼河上流二

評海

論外

社會ご日本

ッ かく かっぱい できます カールラデック氏は日本カールラデック氏は日本が近着イズヴェスチア所 敬の掲組論文は珍しく好意ある方向を示したものとして注目される

スヴェスチア所書 スヴェスチア所書 スヴェスチア所書 人名名ので、外交評論家は 平和を 名自由を持た以た でなく 有民が日本及 つた、 全いかに 引令

村田 精三 町田英七郎

楊本日

永

國都の警察陣を語る

はギャング事件の挿話としてして気を送ぶて活躍したこと

慌の動向

自叙傳布川

戦争と經濟・向坂逸郎

が常魚と

深井英五論·小汀利得

無。 題·林春雄

大政友會分裂秘話小眼

八三役の青年警部

たことに口を挟

蛙の面に膽汁・徳川夢葵

雨·横山大觀

「街の經濟學者」批判・正木千冬

女の安全・粉珠

老子、孔子、支那民族

の投釣・前回の

法律相談·蛛大叫

美妙紅菜 体腦

は注目されてゐる又奏事試驗と前年度より增加してゐるのく前年度より增加してゐるのは記計費、臨時産業訓査費等 航政事業に重點置く

立國に步一参進んで居る事が、機の帰設、農産物病蟲害後防 畑りである(単位千銭) 農產物病虫等發防及關懷範造林場愛

国接觸の機は少なかつた、 国展に関係なく、一九一八 の民に関係なく、一九一八 の日本は列强組の一員に加 つたのに過ぎなかつた、一 でのシベリア出兵事職 有しない、日露職等

係の設置

首都警察廳譯官

首都際祭雕譯官

首都警察應技士 一首都警察應技士

首都警察廳巡官

首都警察應巡官

1ナショナル的文化性と支那 然し一九三一年の補洲事變に 然し一九三一年の補洲事變に

育都警察廳巡官 給月俸百五圓

日本綿布の版大清野地たる印度、エデブト、清野地たる印度、エデブト、清野地たる印度、エデブト、清野地たる印度、エデブト、清野地たる印度、エデブト、清野地たる印度、エデブト、高田満面條約、扇印織入制限等により日本綿布の海外進出は最近不振を楽し、例年下半期の好調期を控へ六月末現地にの好調期を控へ六月末現地に 貨の如き

安礫 道夫 油江 大穗 久維

須藤 文行

名質共に世界一の最終・提茶日本の行く可き方向は本語より。(特徴一日)

災難雜考 額 第一段

夜明け前

第一章舞

と二大日限 七月三日 昭 一三六 三 七月三日 昭 六・翌

本格 人口· 0 上海標金 1至 50 1至 商児欄 金銀市况 OR.A. Cu.A.

めとびあ聞見記

爽夏枢好の讃物はこれ

・ 一部

・ 一部

・ 一部

・ 一部

・ 一部

・ 一部

首都警察廳警佐

首都警察廳屬官

哈爾濱警察廳技,

本田小三郎

哈爾濱等察應屬

哈伽濱等寒暖等2

レコード・

兵術論·横瀬毅八 ンテリの歌・杉山平助 ·野村胡堂

リツク宮具・福田三月

夏のヴラエティ

朝鮮經濟の現段階・森谷克旦 保險國營論·竹中龍雄 法学者。嘆息 雞

津南雄

本事变。具相

ので犯人の検罪は一通りの舌 むではない、其の検罪は一通りの舌 のに加へて和罪件数の多い のは當然で事件は血軽い診勝

ではなかつた。連

人の中に起つたこれ等居住邦

新京總領事館署の卷上

したあたり人間下田の面目 で接越に留って接越に留って接越に留って接越に留って接越に留って接越に留って接越に留って

哈爾濱警察職場

哈爾濱香縣 縣鄉

第一回贾 不 要 第一回贾 不 要

給二級俸

単位の下の屍體・# ■ #

所謂非常時と勞働

思ひ出・土井 晩翠

鴨長明

鬼经多眼

の温暖が出土。

樂天家學科

青·騙士

民族と図家とりの場合は高田

鬼狐漫談童技女夫 翠と音樂・加田琴次

麻生 久·阿部真之助·岩淵辰雄 山道襄一·松野鶴平·富田幸次郎 馬場恒吾·淸澤 洌·御手洗辰雄

新党樹立運動の展室

歐洲の國際的對立と階級的對立・木下半治 の社会史的意義に経験は土屋香雄

省の人物評論

高橋直二部 大公司期

赴

說

洲

國

明年

度

豫算

0

解

剖

(四)

産業發展を偲ばせる

買業部の新豫算

農業立國

佛同盟を見て國際的

首都警察廳屬官

お及び船車を通じた大豆の混 ・ 数を見たので愈々七月一日よ り實施される事となつたが右 を見たので愈々七月一日よ り質施に発立ち總局竹森貨物主 ・ たったが右

富錦等を視察、二週間の豫定

に分れその活動最も目覚しき

し三々伍々と小部縣に分あ廊 脈下の山林地帶を根據に蟠居

精神病

市民の要望與る

具体化運動が興りつるあり元急テンポの步騰で防空施設の

我等の空を離れの呼び驚高く土防帽の重査に目覺め來り、 昨日までの眠れる町も今や間 の満洲里も時代の液に集つ 觸手とも云ふべき顕境第一 にも及びつゝあるが風防線の

幹地に置かれながらその窓は

交通路の重點にあり、

高州 (一五〇) 寝江龍 (一五〇) 心順(八〇)等の有勢なる

腰圏に劣らず樹木の繁茂を奇職業距圏は常に前記思想政治

人質拉致含種强要等際虐の展貨とし各地において放火殺人

西比利亚に遊び火で躑國の大 - 界の出身であつた丈けに到底れ其後心思によりて外蒙古、 かれたものである、氏は操れる内に小村代理公使に知ら を今日の繁榮に導く礎石を繁

を今日の繁榮に導く礎石を築かつたにも拘らず吉林の邦人かつたにも拘らず吉林の邦人

舎に於て不幸長逝された

内容は次の如

満洲里に防空熱

まり防空思想は漸時間村僻地 関内の空への関心は著しく昂

関都 新京に於て肚烈な防空(減別里廿六日酸順通) 義に

に任命されたものだが、吉

一、北部方面 (木蘭の状態を持職しつゝあり

を繁顕に九占、佔四川、平日なく反殲厥老曹長(一〇〇)なく反殲厥老曹長(一〇〇)

居たが今回の税制整理に於て は當然資本の大小も税率査定 ち資本の活動情況及び商業の を資本の活動情況及び商業の

夫々實施せられるものと見ら、 たである、尚右五種目の中土地 である、尚右五種目の中土地

故島

鐵路局懸案の

船車連絡成る

その偉大なる功績を偲び

寄附金募集開始

更消費組合代表

七月一日より貨物輸送實施

歴の實行方法を協議し公平郵減を目的に先づ公平郵減を目的に先づいたが表別を開発を担実地方の対象を担実地方のである。

関線、社線、北線との船車選 医案であつた松花江の河船と

週 右質施により ・ 竹森氏は左の如く語る

【吉林支局設】今を

頭ること

船車連絡の證券がもらへ

少趾応を大陸に懐きて北京に 初代領事として來任した故島 が代領事として來任した故島

では、 には、 には、 に対し、 にが、同時に常に側心の注意 にが、同時に常に側心の注意 にが、同時に常に側心の注意 にが、同時に常に側心の注意

される事となつたが此内容

参連絡運輸に職し鐵道省を

として収扱課及び適絡は當 大連、大阪衛船)の三輝路 大連、大阪衛船)の三輝路

一、損害に對しては鐵道船會 を扱い。

、通關代辦は鐵道が無料で

南

满

甲種藍質より屋員へ七百十三十二名、技術員へ二百七名、

公署、協和會、

統稅處の

煙草稅徵收

別代金別換制度を設ける一、金融の便を置る意先づ取 船賃連絡貨物引換證を下により荷主商民の利便は勿論を確に入れる。 一、窓上保險の契約を養道が、公理とし特に荷主の利便 代ごて契約する 他の路規定を設定したがこれを解とし特に荷主の利便 代ごて契約する

船、大間船會

濟闘係は一層緊密の度を増す り連絡運送となつた關係上日 の改訂と相俟つて日講問の経 より質施の北鮮経由輸入運賃 諸兩國の貿易は益々国滑に取 あるが從來の打切り運送よ

行つたが雇員より事務員へ七 (大連関連) 補機を道部では ものである

需要が漸大整頭せる

之は從來多く行ばれて居た脫 曾て見ざる好成績を示した。

て強定徴收額を遙かに超過し額関係三百萬元以上を突破し

満人側各種の 營業税を改正 從來の弊害を一掃

負擔の輕減と公平

財政質業、成文化を急ぐ

七八、九日哈市で 「本天國通」 機路總局では世 八、九兩日ハルビンに各城路 局各轉事處の貨物課長を招集

貨物課長鐵路總局の

方法及びその他配給方法等の 具體案に就き協議、即B實行

て最近省當局の

電氣で一路復興 の集團部落建設

に全力を傾 に全力を傾 一一同縣では 現在吉林沿

官消新設中止 0

勸告文を發送 ハル民會起つ

祖田平八郎、官司長の名によつ 評職員會にて 二十二日附 は塞地行きの通路に書つてゐ るので避式の通る毎に異様な は塞地行きの通路に書つてゐ

哲無味噌は金

動告文を作成し

郊外祠院街にあつた御北銀精のでは、本でツ郡人の引揚げに依つて 家屋 土地 錦店 スマシ敦融金テニ利低話電

の 部ソ聯に勝遠したので市立精 ・ は 動何と目下研究中であ しては 如何と目下研究中であ 神病院が空き同所の患者は全

和會數光全四五通條一東京新 社 成 萬 番四八八四話電

安部鍼灸科院

■ 15五八六六巻

寫 宣寫 通過流 村份愛 料果好 宴家者 秀なる裏裏材料、乾板、ロールフイルム、フィルムパック、 8 弊社はチューリン商者を代現店としまして皆様に弊社の優 は此處に世界一の材料會社としまして皆様に泰仕しておりま 優秀なる品質と関格の低廉なることは挑乱の誇りとするまで ビテツクス各種印画紙を提供する事に敷しました。 骨様の軽要額と傾引立の程を切に健康して軽短節と致します ありまして必ず皆様の御髪用を鞭る事を替じて貼ります。 機所調の發展に從ひまして變好者各位の要達にお願ひするた た、過去四十年の試練

との優たる實情を知悉する省 対策を講じつ×有るとはいへ 列席新站において對策協議會 圖寧沿線部隊 に軍部側が と二十六日正午よ ある、然し縣 八苦の復願 煮店

金融 (電話・

新社員招聘 離 三番 帝國生命新京出張所新京梅を検町三丁目體五七三日體五七三

町大同印書館電玩 大同印書館電玩 大同印書館電玩 入用

あ んま

*大四四二丸福商事 別女員多数第一根大師 原奈側荷敦します 原奈側荷敦します 原語 御間渡る 左 一 旧物・堂・寮・院 灸あんま

看 新茶發賣

た音野一丁目を調中七〇章 似

*新六九三七巻 書三七七五曜三一ノ三町鉛入京新 社會資合融金和昭

京楽と洗張新見本 市野町一丁目前防藤真道 市野町一丁目前防藤真道 刷印

三省堂製本所 三方 三笠町三ノ九

製本專門

常務委員出席、最初に於て常会、隋務會、教育會等よりな は八日

京外の

全一种 電話寶買擔保權務 東二條通州九兒玉桑店積入 推

領事館の構込か

復興策 省舒騎縣は磐 進まず

十日迄現在の上半期の教牧金 成績は本年一月一日より六月 成績は本年一月一日より六月

避難農民の醫縣 一間では先づ第一 では先づ第一 舒剛縣の復興 てまらく治安維持の任に當つ て居た歩兵○○○歐の勇士は 今度歩兵○○歐の野士は 今度歩兵○○歐の野士は 一となり左の日割にて國宮碑を となり左の日割にて國宮碑を となり方面に移駐する事 をなり方面に移駐する事 ・ 本六月廿七日 将校以下○○名午後三時五 ・ おろ岡們着同十時岡們被

分剛們着同四時四十分圖

馬斯島 电系文

けま

業▲

公認電話店

良

路官職御用達

大阪商船株式會社

質品安語

は

明日通十七新京土地舞物會社 帖其儘低利多額貸

三笠町三丁目廿五香地 部新貝 外交員 女 中 育社員 店 員 女 中 育社員 店 員 女 中 有務員 外交員 女 哈 都 第一 4 子 守 どんなお便ひでも知 求人求職は 迅速り致

齒痛 絶對防腐剤ない はれやか 平 :30 平 :50 平 1:00 平 2:00 平 3:00

は満洲綱の見蛮に日

今日は

が狙いボンヤリする

裁縫

が進まれ

しんな時に

繪本を満洲國兒童へ

一受せればな

新病院の建設を急ぎ、朝野の お土はその名を競つて、當時 連ねたのであります、今や日 連ねたのであります、今や日 であります。今や日 でき、日本の であります。 のであります。 のでありる。

虫類が担つて氣分がやかま

ンを飲ませると尻からで騙除法は月に一回セメン

で死ぬことさへありまし

成は屋根裏にその一生を葬つ

た格恰であつた内務常局は

○ 関の体内でその毒を出し ・ 関の体内でその毒を出し ・ りますが、 ・ りますが、

神間の鰯に對する

馬が死んでしまひます。

動物に注射して見ると、

同蟲は恐ろし

塩めて惨憺たるものでありま 實に觸患者のそれと同じく、

でありま

人この病氣に罹かり

筋だと云はれ

机血

なったうり、こんな具合で 全く絶望の淵にあり、こんな具合で

ります ります。これは全く



のであります

又志あつてこの事を援助業 すべく若干の審附をしまして も、あれは顧筋だから、身内 の者が入院してゐるから審附 するのだと云ひはやされたも ことが豫期出來る迄になつたない内に日本の顧は無くなる 一恐ろしいー 子供の腹の蟲 者の感泣、感激はその もないでありました

御歌會の御兼題

りませんでした 家一族との交り迄斷たねばな

蛔蟲ご鞭蟲

して見ると、催 いこしたものを いこしたものを その兆候と手當法 腹がでつばつて水で

盲腸炎

拔きとつたとは。何とハナシ者につれてゆき彼氏の金幽を

まり観逆さま!

して大した害もなく、またなかく、腐除のできるものではありませんから、それ程心配はありません、緩小様虫は鼠の膓に寄生するのがほんとうです、從つて鼠の質に混つて居るのであり ー嬢は此の程婦人と迎れ立つ 蜂にさされて騰寒、即死 蜂にさされて騰寒、即死

月經

時の休養

どれ位必要か

つて貧血を起すこ

日或ひは四、五日の方が却とですが、よく月經中より と、七度二、一

魚干の清汁

南滿洲鐵道株式會社 貓洲採金株式會社 指 定 御

ハルビンモストワヤ三號 電 話 六〇一〇番

さつらに蜂 純日本式旅館

島旅館 では、大八八番

中央ホテル

電話五三〇一 六二一六番 洋室和室設備完全

哈爾賓銀座通キタイスカヤ街の中心

關東軍御指定旅館 ナショナルホテル

何ラリンナニビウピラ

哈爾賓地段街一一九 電話 三三九八 番 三九四〇 商業中心地 交通至便 养式客室六十餘 室內電話設備 溫水暖房 和洋兩食



小村 自次即商店

ハルビンデ統治ノ節ハ心カロ 寛ゲル解カナ親切ナ旅館デ 哈爾賓埠頭鷹二室街二四

目錄 營業 ンイロー D 七〇〇ワ y 最新四九〇六番

ズボ



務所向あり家具食堂園呂其の他完備

御買上毎に紅茶・碗一面 二〇〇〇個限 黄青 讀書。 VV ベベ ルル 市 内食





お父さんは「かつてゐる」と、いひながら六つもたべてしまつたので、僕は「かうさ

のこと

僕は、まだ四つたべてゐまし

便は、お父さんと、おもちのたべあい を し ました。 僕は、お父さんど、おもちったべる」と、やくそくしました。そしと、やくそくしました。 僕

零町校二年

ガマダ生レナイ時、 クナリマシタ。ダカ ニイサンノオカホョ ン。ケレドイツキ、

ンギョ

トト見テキマシタ。

クノオニイ

校 兒

童

作

品集

室町校一

大田 海子

跡を訪ね

三三大事件によつて具

文藝復興と國民文化

との氏の強烈が正しかつたと 思ふと述べた後南大将の「日 思ふと述べた後南大将の「日 思ふと述べた後南大将の「日 思ふと述べた後南大将の「日 思ふと述べた後南大将の「日 との氏の強烈に外ならぬと論 じてゐる、而して急速度で進 じてゐる、而して急速度で進 じてゐる、而して急速度で進 にかて爾將軍の意志に反し にやがて爾將軍の意志に反し にやがて東まる氣鋭の少批将 に安定性と合理性とを進れ、その意味に於いて大 ム思・必

理由として数年後には強洲でものと思はれない。そのものと思はれない。その 新古事記論

二月六年十和昭

在として満洲問題に熱心なる在として満洲問題に熱心なる在として満洲問題に熱心なる前突を横げついある「満洲評別に無いて「日滿関係の新段階」特輯號として集頭論文に同紙の指導として集頭論文に同紙の指導として集頭論文に同紙の指導として表頭論文に同紙の指導として表面論文に同紙の指導とその姿

開係が建設されるといふの で行はる。日本の満洲政府 に行はれ現實的不可分 指導が從來の如く摩擦なく がで來の如く摩擦なく ると彫明したことによる。 ると彫明したことによる。 をして都市計畫や蓬季開發 として都市計畫や蓬季開發 シンデケート銀行圏の満洲

に進展するが、それに比例 してそれの變質の日も早められる、氏のいふ變質とは 回標訓民詔の指示する方向 とそれに向つて洗れ出す民 との動き並に内地の青年勝 校間に最近醞簾されつ♪あ る改革然求と改革理論の尖 欲化で、この新氣運は敏速・ に有力に隣洲にも波及され るといふ結論に到達してゐ

関内の經濟建設が一段落を 情代日本商品市場としての 情である、だから補別の標 真するに足らないといふに ある、それ故日痛不可分闘 係は主として軍事政治的性 係は主として軍事政治的性 がは主として軍事政治的性

性質こその發展上

橘樸氏(湍州評論)を讀む

日満不可分關係の

(可源物更常》三古)

* 拉芸

学 は萎縮品となり、選に記念品 きてまた君はなきを」とある如くその黒 住居、衣服の制度も自然に定するとあるが、魔除け道具の備 「この大和の國には、吾をおりであるが、魔除け道具の備 「この大和の國には、吾をおりであるが、魔除け道具の備 「この大和の國には、吾をおりであるが、魔除け道具の備 「この大和の國には、吾をおりであるが、魔除け道具の備 「この大和の國には、吾をおりであるが、魔除け道具の備 「この大和の國には、吾をおりて来たのであるが、魔除け道具の備 「この大和の國には、吾をおりて来たのであるが、魔除け道具の備 「この大和の國には、吾をおりた女」とあるにても上下の秩序は十分に儀 鐵頭、魔術は之を人間力によ

この風に雨をのがしぬ定梅雨か 梅雨 (四年街石楠會)

森

Ŧī.

子

新京永楽町三丁目 電話六九三番

に進展するが、それに比例 係の性質を説き最後に日滿 係の性質を説き最後に日滿 原の性質を説き最後に日滿

念梅雨やじりじりと日の焼りぼき 亦雨と言へるに梅雨の月見られ 梅雨晴のこの澄む日よと窓あけて

雲たれて暮れを強く梅雨入風 の日和崩れぬ梅雨の入り

つて支配統領せられて監術と たつた、恐るべき魔力を有す を成力を有するやうになるの である、この形式は我國に於 いては巫女、かんなぎの如き に示さるる、後世裝飾品とな り合岡の具となつた「比禮」は 本来魔法道具として用ゐられ たかの有名なオホケノミコトが舞ひながら

私の希望と生命とをつないたったそれだけに

の変と

傾いた田園構成に喘ぐ人情

らうか!

雲ゆ雲しかずがに梅雨入の日

落ちて淡きついりの月夜かな

ちふりてうちはらひたまへ」むとせばこの比禮を三たびうむとせばこの比禮を三たびう

通典中 え七に五電

おば、 身の心の姿を愛撫しよう ーー九三五、四、二三ー

A時ヤマベノムラジヲタテが ハノミコの奴末」とのりまし

ともだれのおならだよと 手された伊馬鵜平原作の一 女王』撮影着手 して矢倉帯雄監督により着 として矢倉帯雄監督により着

ておかあさんにききます!

醫春 電院內 二六話電

らかわかりません

本ばい風會六月第二例會は二十九日午後七時中より曙町一丁日十四ノ三南方において開催される、乗随、日盛高、近五句 高海、近五句 高海、近五句 高海、近五句 高田士育 子文化協會は今回東京市・坂區表町三丁目世 四番地に移轉した 映畵ニュース

話電

二九四五

越荷物樂材料運搬

デ本運送店支店



板看金字文金板看術美 • 負請事工塗キンペ築建

瓦斯熔接、械

見玉



春鐵工所 *+*** *** ***

水金 秦夫平安通一八番地 が開発

土木 建築材料並に一般貨物の専用線 ・ 大大 建築材料並に一般貨物の複組保管を引 ・ 大大 建築材料並に一般貨物の複組保管を引 ・ 大大 建築材料並に一般貨物の複組保管を引

性內

科、小兒科 アヘン

朝日通り二一(とどろ 電話 五七九五

(御一報次第店員多上カタログ進呈) アルの治典製造 東北寫眞台紙工廠 製造! 振替口座举天五五六



吉林

が」たことは墨宝に對してな 県の念をいだいてをつた當時 の配會的情勢と國家権力の時 の配合をいだいてをつた當時

7

機 村 芳 仙 なが思ひ出が故郷の山野に は偽と罪業の構道を辷つて

哀れにも傷ついた

老新

松京町ダ

ニイ

丁中 目街

カレ

小白级极 急行トラック輸送

:||新京

迅速懇切

丸仲運輸就支店

日本の一日本の大学

() 院時往診應需)

滿洲製油珠會社

新

錢

○○○ a "備完。一本日 新組典寶紙手。評好大 元の大景品計亂賣 き続いれは便利だ

壹圓四拾錢 十二第一財&(凸版印刷) 大三字(づし野典 新第二別册財&(四六判) 大三字(づし野典

上降保證付 ~

京

お子様方にも

喜ばれます

クラブ政府は、これ程張力な清掃

作用を致しますが、お子様方の

脆弱な幽質にも全く安全で、 その快い爽やかな香 作用がありませんし、 それに際下しても何等歌

きすから、 放のお無に召し はきつとな子様

30セン 46セン

入罐装

飲過ぎに

合薬劑により適度の濕りを帯びて居て、 掃作用をすると共に、その特殊な粉末が、配ます。これはクラブ煉齒磨を同じく優れた清 飛散すると云ふ從來の缺點が完全に除去 たものです。 大限度に活かした、 煉の性質を併せ持つを同時に、 行望の新製品、 しかも永持してお徳用です。 粉齒磨の愛好者には全く理 測質半煉クラブ歯磨は、 全く新様式の齒磨であり 粉の特徴を最 想され 粉が 粉記

下寫眞に年齢、氏名、職業、機定希望を本邦運命學の大家檜山大容先生は交斯界の巨頭聯盟のリーダーです。その科學的の巨頭聯盟のリーダーです。その科學的の陰に極めて大きな存在と云われてゐます。此の期を逸せず自己の運命を開れます。此の期を逸せず自己の運命を開れます。此の期を逸せず自己の運命を開れます。此の期を逸せず自己の運命を開れます。此の期を逸せず自己の運命を開れます。此の期を逸せず自己の運命を開れます。此の期を逸せず自己の運命を開れます。

いさ下

會合

廣本洋行

證

話园一〇四二番

新京日本橋通七五

鑑定

用利御

賜公債界

高價

0

する汚れ等を除去し、 全に果し、又齒齦を強化する特殊な 歌萬や、煙草の脂の如く執拗に歯の表面に附着 を白く強くすると共に、口中に繁殖する恐るべき 高貴原料を含有して居ります。 口腔清掃の目的を完

用

クラフ焼歯磨及び腐貨や煉クラブ歯磨は、

胃腸も

竹林上瀬像の

南煙る朝

で頭の技れをやすめ給へ

治淋剤中の明星

複方

、戦する力强

化吸收され易い狀態に於て内容してゐるのです ジどう天然の

滋精を更に

强化して

而も極めて消





一個立して時計画 大橋者には就職難なして時計画となってあます。 「本塾後接夜の下に近代的時計画となってあます。」 「おいず修得技術を小學校卒業程度の下に近代的時計画となるには十四五歳から適齢を ないず修得技術を小學校卒業程度の下に近代的時計画となってあます。」 學則無代進呈 成功の近道?」 京精密時計工學敦 新書書『相写時計工學敦

はれやか

割立四十周年記念實施事業 軍人遺家族中 會勢の大擴張

●御下命次第係員をお伺ひ致させます

國 軍

血と肉になる葡萄酒

れ、陸軍大學校長學教育職兵 一聯聯大聯長に御精神遊ばさ 一聯聯大聯長に御精進、弘前第三十 一聯聯大聯長に御精進、弘前第三十

秩父宮殿下弘前聯隊へ

軍務に益す御精勵

を側部護遊ばされるはめの有 されるのは長き建りの大側心 から軍民一致特に地方の民情。

で、この耳匠一度 一十九日午後七時か 一十九日午後七時か 日堂で開催されるこ

び風都訪問の報

Aでゐるーデムバ 関でゐるーデムバ

りて演奏旅行を行ひ、東洋にも 教回訪れたことがあり、音樂 人ならずも離知らぬものはな

舊北鐵接收と同時にハルピン

の不満

白系從業員

デムバ

リスト氏大演奏會

に初めての

鮮魚小賣相場

愈よ

明夜に迫る!

傷をらけし白衣の勇士四十二名は二十七日午後霖雨降り しく頼京を後に内地凱旋の途についた (寫眞は別れを惜

城子派遣譯人たちは最初の契一十銭しか支給されないので寛

五十分大阪港三菱倉庫前岸壁一はれる
新京高等女學校の第一學期考

れたのが日の悪い「月刊商業」 をつかまへて鑑谷氏が鷹を生 をつかまへて鑑谷氏が鷹を生

を御紹介しておく▲そこへ現り優しいパパの反面がある事

いやうだ、鑑谷君に

新京高女考査

さすが

滿洲國軍警追擊中

七日午前中

白衣の勇士たち凱旋

は検徴による命令患者は命令 な求め、且つ検徴に関する注 を取へることになつた、な

でより記念公會堂に機主 と質権することに決定し たのでいよく七月二日かり、健康診断そのものに對 が其の成績見るべきものあ

新京藩鐵陽係事校、中、商、 連絡教育向上、親陸を闖る爲 連絡教育向上、親陸を闖る爲 かれて新京教育會の設置が申 合はされてあつたがいよく で機會ある毎に理解を與へ で機會ある毎に理解を與へ で機會ある毎に理解を以 で機會ある毎に理解を以 で機會ある毎に理解を以 で 各校の連絡を圖る 新京教育會創

九日初の總會を開

記念公會堂

改長がそれが一推される模様。事會を廿四日開催、川村理事 南爾平安町寄り校舎に慥下二枚、副會長には上原室町小學 新京記念公會堂では第七回理 た結果大問組に落札、直ちに 第七回理事會

谷地消組

の新設

全滿商議聯合會代表一行

至急停止せ

出左記事項の實施方を懇願す / ~ 猛威を遑ふし息ふが儘に善後離綴に関する陳情響を提 魔 は 得 たりかしこしといよ

四以上委員會を開會を公司を受け、

泉町白山寮浦鐵新京縣員西本 発の患者を聞したが飼日午後 又々市内中央通三十九港和洋 行店員森住飯間君(一七)和

よれば降り観いた降雨のため (奉天國通) 鐵路總局入電に

不適となった目下塵に浸水の爲廿七日朝に浸水の爲廿七日朝に浸水の爲廿七日朝

新京青年學校では來る三十日 中行事の行軍を行ふ参加生は 本科及び研究科生約五百名上 被生は武裝をなし、辻學校長 始め各指導員の指揮で途中警 が行軍、斥候行軍等を行ひ勝

各地組合の新設

きのふ各要路に陳情

く決まる

たので積く具体化した課で ちとて決して萬全とがふの ではない其監一数が充分注 ではない其監一数が充分注

共に興行方面の申込み漸末減(道に乗つた感がある、即ち六所謂興行界の夏枯れに入ると)俄然増加して公會堂本來の軌記念公會堂の鬱堂使用狀況は「少し、一方公共目的の使用は お待棄ねの講堂も 漸く本來の軌道に乘つた

興業界夏枯れ 此頃の記念公會堂

船は印綿一萬二百五十俵及

國立種馬場

管轄區域指定

計時鳴

初夏の梅家庭に是非 側突め中上げます

から硬火、

初めてよあり、多大の規程を以て符たれ前資券の優行も實に素晴らしく需夜の経況は費

鳩

多大の期特を

WALESTAND D

1

獨選より担各の結婚時計が

熱熱

・人四通典中

参量に入荷致しました

込の印綿千五百

職械として二十八日左の通り 立誠に依る國立権馬場の管轄 車政部は康徽元年軍政部合第

1111日大学にはいいかとなっているというと

をあじあ

は損害はない、原因は自然酸

力を増大する 超特急あじあ の形態を更に が線化して動 ないかと云ふ 立種馬場 興安東省の内喜札省の内布特哈族一帶ム洮南國

吉林

新京

泌 皮

尿

科科科科

回

性外

新京富士丁二丁目二

急行トラック輸送

はとの模型を造りこれを鳴尾げて補鐵では今回あじあ及び 野球豫選 都市對抗

小口扱

迅速懇切

に算出することとなり工作課場合の空氣の抵抗力を料準的 同所の風洞に入れ時速七〇キの川西航空機製作所に送つて 十四日より一週間に亘り試験 の前島龍夫氏が模型と共に 新京も参加

丸仲運輸競支店

物

手

輕

3

支辨

新京驛地下室食堂

電話二九五六

新東宮士町大ノニ

秋までに實現

谷教室の増築も一齊に

◇──擴がる新京高女

室、階上二室都合四室の増築 に落れしたが同建物も十月中 に落工、十月までに竣工の費 るた屋内体操場新設も今回教 に落札したが同建物も十月中

、 洩らし中には静臓を申出でん としてゐる

観相と易断

不意打ち臨徐 最近満人浴場等に一風俗を素

満人浴場に

臨線一つも収穫はなかつた 高州各浴場を不意打ちに一齊 高州各浴場を不意打ちに一齊

女給大募集

吉野町五丁目十 開店二付至急)

內二大同大街支行ヲ新設シ來ル七月一日ヨリー

弊行儀今般新 京特別市 大同大街 多百壹號康 德會館

大同大街支行開業

般銀行業務取扱致候間御利用願上候

康德二年六月

洲

中

央

銀

行

交驩競技

急生一い大人一 ・ 大人一 ・ 大人一 ・ 大人一 ・ 大人一 ・ 大人一 ・ でいるが ・ でいる。 ・ たたる人 ・ もん人 **兩聯盟打合せ**

北野の道へ光明の道へ

受別選逐征日本學生聯合陸上競別選逐で日本學生聯合陸上競別で、對議別の交響競技が到本しく歴開されることになつたが、同義技別間に関し日前体が、同義技別間に関し日前体ののヤマトホテル會議室で聯合役員金を開き富日の役員並た。選手を決定することになった。

高島易斷滿洲新京本部 學校輸田中ビル二階新京東一條通常町小

支行は七月一日より開業一段 端中の満洲中央銀行大同大街展徳ピル内に開設車 大同大街展徳ピル内に開設車

大街支行中銀大同

既行薬を開始と

る

より開業一般

各地鐵道

常な期待をかけてゐる

青年學校生の

武裝行軍

端州 単から 十四日は早十四日は早

スも仲々つらいです」と口はいぶ圓滿振り▲「家庭サービいぶ圓滿振り▲「家庭サービスも仲々つらいです」と口は

隣南社神宗新·二十目T一町盤常 番九三八三話慶

徳のかな 五六公本













加入申込(二十六日中)十四チーム▲ 全新京實業軟 會 七月 式野球協會

詳細二十九日各チーム主腦者協議會ニテ決定 X 切二十八日中 新京日本橋通七四 (申込い郵便又い電話ニテ

旬

込 雙發洋 電话 33 11 == #

カン 7 帽帽傘 凹 0

願い牛分を暴露してしまつた られて弱つたよ」とトタンに といるがある。

思認

電六四六六番

津温は、

ら気って、

と、自分の心に云ひ聞かせた

たず、おまけに、あべとべに脚切っただず、おまけに、あべとべに脚切ったところへ手を入れて、職器からのぞいてもるところへ手を入れて、職器からのぞいてもるといるの一一無限か人間の生血

時分だらうぜ……』

手な御託を並べるない。――さ、 相子は何らあつても置って行くん

相手の質問から新り込まれて行っ

豊富當店のモットー

映業

百長

E H

幸雄

秀 志

世

羅明

新綿も各種豐富に取揃へてあ ◇受渡貫目は正 称のお ♦打 13 迅



ア今日の所はお前の間を立てよっ 相手の赤七が、別號三昧をしても形で、無言で、既言で、既言をと戦んでゐたが 言ひがもあるが、「仲

夕

一周ョリ四・八〇マデ |関ロリハ・〇〇マデ

ブルカケ各種

治 茶 0 流

殺虫効力フ

二大要素

落下一率

茶道具と陶器類

竹林に蕭條の

雨

煙る

朝こそ

で頭の一般れをやすめ給へ

を 整弦はすつかり発線を扱かれた

債 劵 勸業

此の新聞名を記

試實敏速◇◇◇皆樣の債券店 原忠三郎商店

旨

店理代滿北

日

セン

廉價 店のモットーでする質の優良品種の

(百七十六)

自6月28日 至7月14日

完全ナル殺虫効力ヲ具備セル

行

品品

…一関ョリ三・五〇マグ

世界的殺虫剤試驗法

殺虫効力 100%

ピートグラデー氏法ハー 殺中主 殺虫試驗~

即,乳外,则一蛆一蛹一成虫(螺)一殺虫試驗

死亡率

此點ハ大變ニ重要ナ事デアリマス。 インビレスハ最高ノ死亡率ヲ持ツテ マスカラ、落下率ダケデ死亡率ノ少 ◎殺虫劑ハ虫ヲ殺スノガ目的デアリ アリマスマ 四時間後ノ死亡率ヲヨク見ル必要ガ カヲ失ツタニ過ギマセン、ソレデ甘 死亡シタノデハアリマセン單ニ活動 イノハ良イ殺虫剤デハアリマセン、 11三殺虫剤が掛ツテ床ニ落チテモ、

133













物理的 試验

製

期社分敘取隸香本館 60 P 畏 岡 臨 虫

開製造株式會計

鹿谷齒科醫 「電話開通」電話四八七八番新京三笠町二丁目十一番地

新荷着 全 滿 金金金壹五千 商品券。御利品 壹五 百百 用を!!は (卅本) 壹 本 本 賣

御買上金壹圓舞場一枚金五圓毎に本券一組

營業時間

出

目 命信 12 我々の身に洗ひ をの日に洗ひ をのりに洗ひ ぼる日本 亭塘 夜に 経済的な銀幣包が新統計野な場合薬医容難養医にあり

電話三一六一·四八七六番 白 午後十時まで

京